



小中連携教育から小中一貫教育へ
主体的に学び続ける子どもの育成をめざして

これまで全国の小・中学校では、中学校入学に伴う環境の変化への不適應により顕在化する、いわゆる「中一ギャップ」の課題などに適切に対応するための方策の一つとして、小中連携教育の取組が進められてきました。

泉佐野市においても同様に、中学校区にあることも園、小・中学校の教職員が連携し、情報交換や取組の交流を通じて、それぞれの発達段階において育成したい力や、めざす子どもの姿を共有しながら、日々、子どもたちに関わってきました。

そのような中、平成29年に告示された新学習指導要領においても「学校段階間の接続を図る」ことが明記され、これまで以上に小・中学校の教職員が連携・協働することが重要となつていきます。

本市においても、小中一貫教育を推進する必要があるという認識のもと、これまで取り組んできた小中連携教育を基礎とし

ながら、令和元年11月8日に「泉佐野市小中一貫教育基本方針」を策定しました。

今後、この基本方針に基づき、小・中学校の義務教育9年間の学びと育ちをつなぐ視点で教育活動をさらに充実させ、全ての中学校区で「主体的に学び続ける子ども」の育成をめざし、小中一貫教育の取組を推進していきます。

小中一貫教育では、校区の子どもたちがどんな風に育つてほしいかを地域・保護者・教職員で共有した上で、社会全体で子どもたちを育てるという視点で教育活動を行います。

校区で育つた子どもたちが、社会や世界に向き合い、関わり合い、自分の人生を切り拓いていく力をつけていくことができよう、泉佐野市の小中一貫教育の取組をこれから進めていきます。



学校園紹介



確かな学びを育む学校づくり ～新池中学校～

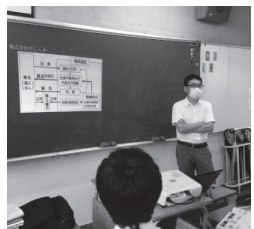


新池中学校は、大阪府教育委員会より「確かな学びを育む学校づくり推進事業」の事業対象校の指定を受けて、今年で3年目となります。「すべての子どもたちが、わかったら楽しい、できたら嬉しいを実感できる授業をめざして」をテーマに日々、

取組を進めています。臨時休業期間中は、オンライン教材を提供する企業と連携して、家庭学習をサポートするとともに、新池中学校独自でインターネット上にプラットフォームを作成し、授業動画や解説プリントを共有する取組を行いました。



授業では、定期的にアンケートを行い、子どもたちとともに授業をつくっていくことを大切にしています。また、タブレットやプロジェクターなどのICTツールを活用した授業も多く実践しています。授業の主役は子どもたち一人ひとりであり、学びに向かう姿勢の育成にも励んでいます。



「United by Emotion」を合言葉に、子どもたちにとっても教員にとっても、成長できる学校をめざし、取組を進めています。

生活の心得 ～日新小学校～



7月6日(月)、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「三密」に配慮し、1学期初めて全児童そろっての児童朝礼ができました。その中で、生徒指導担当から「あいさつ」をキーワードにお話をしました。

日新小学校の生活目標は、「あいさつの声が響く学校にしよう」です。それを含めた「日新小学校 生活の心得」の5つを設定し、子どもたちの基本的な生活習慣や、集団の一員としての存在感や連帯感を高められるよう指導しています。
～具体的な内容を紹介します～

【自らあいさつをする】

「自ら」を付けることで子どもの自主性を高め、あいさつから始まるコミュニケーション力を育みます。

【正しい姿勢・正しい服装で生活する】

姿勢を正すときに「立腰」の指導を行います。

【整理整頓 (校内美化) をする】

学校を美しくする行動ができるよう指導しています。

【廊下は右側を歩く】

お互いの安全のため右側を意識させています。

【チャイムを守る】

チャイムで始め、チャイムで終わられるよう心がけています。

